

糖尿病治療の新たな選択肢：インスリンポンプ研修

— CSII（持続皮下インスリン注入療法）の理論と実践 —

糖尿病テクノロジーは大きく進化し、インスリンポンプ療法は新たな標準へと歩みを進めています。本研修では、最新の知見と実践的スキルを通して、より最適な糖尿病ケアを実現するための視点を共有します。

1. 日 時：2026年6月21日（日） 午前10時00分～午後4時00分
2. 会 場：神戸臨床研究情報センター（TRI）ポートライナー医療センター駅下車 徒歩1分
（神戸市中央区港島南町1丁目5番4号、TEL:078-306-3655）
3. 参加費： 「連合会会員」2,000円、「連合会非会員」6,000円
注意事項：ランチタイムセミナーを行います。昼食は各自ご持参ください。
4. 受講定員：30名（定員になり次第締め切ります）
5. 主催・共催：糖尿病療養指導士兵庫県連合会、ミニメドジャパン合同会社、テルモ（株）
6. 後援：兵庫県薬剤師会、兵庫県病院薬剤師会、
兵庫県看護協会、兵庫県臨床検査技師会、兵庫県医師会（予定）
7. プログラム：

1) 開会挨拶・研修の目的共有	11) カニューレ交換の手順
2) インスリンポンプ療法の基礎	12) 各種アラームへの対応
3) CSIIの適応	13) トラブルシューティング演習
4) 血糖管理における利点	14) インスリン閉塞・吸収不良等への対応
5) 医療安全に関連するポイント	15) 低血糖・高血糖時の対応
6) 最新ポンプ機器の概要と構造	16) 患者指導のポイント
7) 操作画面と機能の説明	17) 導入時教育
8) 消耗品・付属品の管理	18) 在宅管理上の注意点
9) 操作実習（ハンズオン）	19) 緊急対応の説明方法
10) 基本設定（基礎レート、ボーラス設定等）	20) 質疑応答・総括
8. 講師
 - 1) 廣田 勇士（神戸大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌内科学部門 准教授）
 - 2) 恒吉 慶子（兵庫県立尼崎総合医療センター糖尿病認定看護師）
 - 3) 森 貴幸（東京都東大和市大和調剤センター）
 - 4) 田井 さやか（ミニメドジャパン合同会社）
 - 5) 大島 栄里子（テルモ株式会社）



タイムスケジュール（予定）

Start	Close	Content	In Chage
10:00	10:05	開会挨拶、スタッフ紹介	増本先生
10:05	10:15	アイスブレイク	六車先生
10:15	10:55	インスリンポンプ療法の基礎講座(座学)	廣田先生
10:55	11:00	休憩	
11:00	11:30	インスリンポンプ療法における看護とケア、患者指導のポイント(座学)	恒吉先生
11:30	12:00	インスリンポンプを使ってみてわかること(座学)	森 先生
12:00	13:00	ランチタイムセミナー(ビデオ講座)	企業担当
13:00	15:10	1) 最新ポンプ機器の概要と構造 2) 操作画面と機能の説明 3) 消耗品・付属品の管理 4) 操作実習(ハンズオン) 5) 基本設定(基礎レート、ボーラス設定等) 6) カニューレ交換の手順 7) 各種アラームへの対応 8) トラブルシューティング演習 9) インスリン閉塞・吸収不良等への対応	田井先生 大島先生
15:10	15:20	休憩	
15:20	15:40	確認試験	
15:45	15:55	インスリンポンプ療法の保険について	辻本先生
15:55	16:00	総評	富田先生
16:00		閉会挨拶	高瀬先生

研修項目	一般目標 (GIO)	到達目標 (SBOs)	知識	技能	態度
CSII	安全かつ有効な薬物療法を導入・継続するために、CSIIの特徴および作用機序ならびに関連するリスクを、インスリン製剤の特性を踏まえて理解し、適正なインスリンポンプの取り扱いと血糖管理について説明できる	CSII の基礎が理解できる	○		
		CSII の適応について説明できる	○		
		最新のインスリンポンプ機器の概要と構造、血糖管理における利点について説明できる	○		
		最新のインスリンポンプの操作方法、機能について説明し、操作することができる (消耗品、付属品含む)	◎	◎	
		在宅管理上の注意点について説明できる	○		
		CSII 患者指導のポイントを理解し (SMBGの活用、物品の廃棄方法等)、指導ができる	○		◎
		インスリンポンプの打ち忘れの対応などを概説し、適切な指導を行うことができる	○		○
		基礎レートとボーラスインスリンの必要性について理解し、説明できる	○		
		カニューレ交換の手順について説明でき、操作できる	○	○	
		X線、CT、MRI等の検査時のインスリンポンプの適正な取り扱いについて説明できる (医療安全の観点)	○		
		主なアラーム表示と内容について説明でき、適切に対処できる	○	○	
	代表的なトラブル事例を列挙しその対処ができ予防法について説明できる (トラブル、閉塞等)	◎	◎		
	CSII に関連する保険診療について理解できる	△			
	SAP療法の基礎を理解できる	△			

CSII (Continuous Subcutaneous Insulin Infusion : 持続皮下インスリン注入療法)
 SAP療法 (Sensor augmented Insulin Pump Therapy : パーソナルCGM機能を搭載したインスリンポンプ療法)

達成度目標
◎ 80%以上の理解
○ 70%以上の理解
△ 60%以上の理解